

福祉と教育のプラットフォーム提供を通じ 世界に通用する健康システムを目指す

主な事業はソフトウェア開発。情報技術を駆使し、福祉・介護施設や教育の分野でプラットフォームの共創を目指す。「TANO」という商品の開発を通じて、利用者の自立支援及びモチベーショントレーニングを可能とする。既存のサービスと新しいサービスを融合させ、利用者の喜びと負担軽減に向け開発。常に身近な課題解決に着目し、テクノロジーとアイデアで解決を目指す。海外にもサービスを提供し、各国において格差低減に貢献する。

●所在地	神奈川県平塚市宮の前1-4 パーレン平塚ビル5F	●設立	2018年
●電話/FAX	0463-73-5490/0463-73-5491	●資本金	500万円
●URL	http://tanotech.jp/	●従業員数	4人
●代表者	代表取締役 三田村 勉		



最新技術を活用した、福祉と教育のプラットフォームの提供

自社開発商品「TANO」は、「運動」「発声」「測定」を利用者が気軽に、かつ長期にわたり活用できる点が特徴。認知症や重度障がい者、また幼児まで、幅広い層の方が利用でき、介助者の負担も軽減される設計となっている。身体回復訓練（リハビリ）の効果測定を行った結果、普段同じような動作を1～2分程度しか持続できない被験者が、長時間にわたってリハビリに取り組んでいる。また、最新技術を活用するために、国際間の連携や学生を巻き込む仕組みを積極的に取組んでいる。



自社開発商品「TANO」

スピード感と遊び心を持つ、世界に通用する技術開発

介護福祉に特化し、100種類以上の運動や計測が含まれたシステムは、世界から注目されている。開発は現場ニーズをスピード感をもって柔軟に取り入れている。特にAIを駆使した健康測定システムは世界で注目されており、利用者に合わせて自動的にプログラムを選び、正確なデータを測定できる。三田村社長は実世界とテクノロジーを融合し、最小労力で最大の効果を生むビジネスモデル構築に努め、教育と福祉分野にエンジニア的思考で取組んでいる。新しい技術から生み出される未知のサービスが提供できるよう、開発者の遊び心や利用者の喜びを探索している。



AIを駆使した健康測定システム

起業後1年半で中国、韓国、台湾、香港に事業展開

シンガポールやベトナム、カタール、アメリカ等、海外の展示会に積極的に出展し、起業して1年半足らずで中国、香港、韓国に代理店を発掘。既に中国に40台、香港には30台、韓国には20台、台湾には2台の販売実績がある。今後この分野の世界的な需要がますます見込まれ、同社システムは多言語対応していることから、上述の国以外からの引合いも多い。海外市場を積極的に開拓し、世界での普及を推進していく。



海外展示会への出展の様子